

『神の見えざる手』は『あなた自身の手』



「いつだって、あほちゃやうか? もう、ちよつと深刻になつたらどうやねん!」と言われるくらいがちょうどいい。

君たちの「真面目さ」が今、自分自身をピンチに追い込んでいる。何事にも裏表があり、メリットデメリットがある。「真面目さ」も事がうまくいっている時はいいが、行き詰った時は、悲観的になりがちで、それが進むと心が弱ってしまふこともよくある。大丈夫か? 危ない人が多いと違ふか? 授業中の雰囲気は明らかに急降下しているよつに感じる。秋に入った頃から、その気配が強くなっている気がする。学力が伸びないと落ち込んでいる人が多いうろつなあ。受験生は誰でもそういう時期に遭遇するもんで、でもそこには「二つのパターンがあつて、ちゃんとやつていて、今伸びない人は冬に必ず上がつてくるが、ちゃんとやつてない人は、どうにもならん」が、そういう人に限つて、大してやつてないのに「自分はやつていふ」と思つていて、焦るだけの毎日となる。そして、学校を休んで遅れを取り返そうとする。しかし、今まさに「つげ」は余りに大きく、受験問題に大分打ちできない。基本からやり直す時間も気合もない。大げさに言つと、失望感、絶望感に打ちひしがれる。そういう人は授業中の演習中もたいして寝てる。そして「結果はなるよつに」開き直るしかない。「投げや」や「あないで、やるだけや」つた人間が到達する「開き直り」や、「そんな」言つても行くよつなかつたら、どうしたらええねん? 他人事やと思つて簡単に「言つな」と言つて声が聞こえてきそうやが、答えは一つ。「冷た

大阪府立 泉陽高等学校
83期担任団
2020年
令和2年
12月10日
(木曜日)
第16号



いよつやが、それがあなたの結果。泣いても叫んでもあかん。自己責任をとなあかん。浪人してがんばるか、行けるよつを探して手を打つか、自分で選択することや。それしかない。僕は、その場合は、浪人を勧めるけどね。」

今、安定した精神状態で過つてきている人は、そのまま継続すればいい、ここからギアを上げてな。きつと結果は出る。一発勝負の入試やから、失敗もあるかもしれんけど、しつかりがんはつた結果なら後悔はしないはず。今、低迷して病みかけている人に必要なのは、規則正しい生活と「明るさ」や。「根拠のない明るさ」でも、「落ち込んでいるだけ」よりは、ずつとまし! これだけは、言い切れる。「落ち込んでいるだけの」人には、幸せは絶対来ない。「まあ、大きい小さいはあるが、人生の半分くらいは失敗や。その時、ただ落ち込んでいて、何かが良くなることは、ほぼない。また、ほとんど失敗した」このない君たちにはわからんかもしれんけど、長くてあと3か月、必死の「パチ」で脳目もふらず、頑張つてみたらどうや? 共通テストまで、あと1か月。「1か月もある、最後くらい、うそでも、明い願しても、これ以上は無理」と言えるほどの根性を見せたらんかい! 「人事を尽くして天命を待つ」じゃなく、「人事を尽くして天命を変えたる!」んや! その迫力で、神様を動かすんや! でも、「人事を尽くしてない人には無理や。楽しみにしててな。」



人類には予測できないことが起きすぎて、バタバタしているうちに気付けば今年が終わろうとしていますね。そんな中、人生の岐路に立っているあなたたちには、本音が下がります。毎日お疲れ様、あなたたちが頑張っている裏で、あなたたちの家族もとても気を遣つてくれているはずなので、感謝して下さい。でも今は胸の内に秘めておいて下さい。言葉にするの

「あと1か月」



「あつた人間が到達する「開き直り」や、「そんな」言つても行くよつなかつたら、どうしたらええねん? 他人事やと思つて簡単に「言つな」と言つて声が聞こえてきそうやが、答えは一つ。「冷た

は受験が全て終わつてからで構わないです。さて、本題。共通テストまであと1か月を切るよつとして、私があなたたちに伝えたいのは、とりあえずこの1か月全力で頑張れ。というこです。もうここまで頑張ってきたんだから、少しづつ力を抜きたいな...と考える人もいます。でも、この1か月を頑張れるか頑張れないかで、あなたたちの一生が決まります。一生、特別に受験の合否は指していません。受験の合否なんか、終わった人間からすれば正直、ちつぽけなもんで。見据えをほしいのは、もっと先、社会に出て、自分でお金を稼いで、自分で食べていくよつに頑張らないといけないシンとは、山ほど遭遇します。その時に、この受験期(1壁)をどう乗り越えよつきたかが、あなたたちの自信に繋がるか、不安に繋がるかを決めてしまふ。将来「あの時も頑張れたから、今ももう少しだけ頑張つてみよう!」と思えるよつになるか、「あの時は頑張れなかつたから、今回もきつとあかんのやろな。」と思つてしまふよつになるかの違いです。かなり違いますよ。必要を時に頑張れる人間になつてほしいと思います。

1か月本気で頑張るよつのは、言葉では簡単ですが、実際やつてみると、難しい。でも、1か月頑張れたら3か月頑張れる。3か月頑張れたら1年頑張れる。1年頑張れたら...自分自身は頑張れる人間なんだ! という自信を持つて、壁を乗り越えられる人になるよつに、この1か月本気で頑張つてみよう。その頑張る対象が必ずしも受験勉強である必要はないんですけどね。(理科 黒木陽)



受験はメンタルトレーニング!



① 今年第一志望を貫こう! 強気のメンタル! ここで言いたいことは、浪人しよう! ではありません。浪人を過度に恐れずに、今年第一志望を貫こう! です。受験だけでなく、これからの人生を考えると、どこぞという時に頑張れるかが大事になってきます。不安な気持ちにはわかりませんが、おびえても何も生まれません。不安な気持ちも振り切つて、ただ真つすぐ目

初志貫徹

の前のこに集中しよう。そつすれば、第一志望の合格が見えるはずですよ。

② 夜は早く寝る! 朝は朝日を浴びて、朝から学校に来ましよう!

今更ですが、当たり前のこです。しかし、これはとても大切なこです。最近遅刻が増えているよつに思ひます。15分に席に着いていますか? 毎朝決まつた時間起きて、飯を食べて登校する。入試本番に万全の体調で臨むよつに、規則正しい生活をしましよう。朝の数学センター講習を利用するのもしいいですね。また、遅刻して教室に入ると、他の友達も集めも途切れてしまふ。教室をちらつかす、受験に必要な授業は寝る、必要以上に放課後教室で騒ぐ(息抜きも必要です)すけど、ね、等のないよつ、みんな、受験に向けた環境づくりを心がけましよう。受験が早く終わった人も、お願いします。

③ 共通試験まであと37日(12月10日~1月16日)、また1ヶ月以上もある!



この数字を見て、ビビつた人いますよ。でもよく考えて下さい。あと1ヶ月で全てを身につけたいといけないわけではありませぬ。今までやつてきた分があります。授業での演習、自己学習の時間を合わせると、膨大な時間をかけて取り組んできました。その最後の仕上げの期間が少し残つていふだけです。勿論二次試験もあるので、そこに繋がる期間でもあります。落ち着いて、きちんと基本に忠実にね。

泉陽の先輩達のセンター試験までの体験談を紹介しまふ。あと1ヶ月、やつておいた方が、いいと思つては、おぼろげに、早寝早起きの習慣をつけていて良かった。スマホをいじるのをやめて良かった。スマホをいじるのをやめて良かった。スマホをいじるのをやめて良かった。

時間平等にありまふ。仲間とお互いに高めあふ意識をもつて、最後までやり抜ましよう!



『プラス思考』

2020年は、世界にとっても本校にとっても後世に語り継がれるであろう二年になりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、四月になっても臨時休業が継続され、入学式も始業式も中止となりました。学校から生徒たちの笑顔や元気な声が失われ、学校は今後の対応に関して教職員が緊急会議をする場と変わりました。



三密を避ける為視聴覚教室に教職員が集まり、生徒たちの学びを保障する為「何をできるのか？」を議論する日々が続きました。五月初旬から泉陽スタイルのオンライン授業がスタートし、六月上旬からの分散登校を経て、全員が揃って授業ができたのは六月十五日のことでした。

この間、生徒の皆さんの貴重な高校生活は失われ、目標にしてきた部活動の大会の多くも中止となりました。生徒の皆さんがそれを受け入れるのは大変なことだったと思います。そうした中で、私たち教職員は、学びを保障するため毎日の授業だけでなく、土曜日や長期休業を有効に活用していくこと、生徒の成長につながる行事をできる限り実施していくことという方針を決めました。九月には多くの学校で中止になった文化祭や体育祭を開催しました。全校生徒をまとめた生徒会執行部の見事なリーダーシップのもと、三年生は、受験という制約があるにもかかわらず、クラスが一体となってコロナ禍でできる模範店を考案しました。体育祭でも本校の応援団や新団の在り方を、一・二年生に引き継いでくれました。

感染症のパンデミックは、過去何度もあり、世界の歴史を変えてきたといわれています。例えば、14世紀にヨーロッパを襲ったペストにより、封建社会が崩れて中世ヨーロッパの社会構造が変わり、ルネサンスに繋がりました。



チエコの地方都市ブルゼニニにある「ペスト終焉記念塔」。尖塔はマリア像、同様のものが欧州各地にある。人々に与えた衝撃の大きさが窺える。

ぼしたといわれています。感染症は、社会に生まれつつある変化を加速させ、大きな流れへと導く役目を果たしてきたように思います。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、これからの教育はどのように変わっていくのでしょうか。現在、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想が進んでいます。将来2020年度は、オンライン授業元年といわれるかもしれません。本校においても、コロナ禍を受けてG Suite によるオンライン授業の体制の準備を進めています。今後、ICTを活用した授業が更に加速し、対面授業とオンライン授業の併用化が進むことは間違いないでしょう。しかし、対面授業、級友から知的な刺激を受け、部活動で切磋琢磨して成長するという学校教育が有する特質はオンライン授業で代わるべきではありません。コロナ禍を通して、私は、改めて本校の教育方針である泉陽スタイル「積極的な学習」「自主的な学校行事」「熱心な部活動」の重要性を認識しました。また、泉陽生の何事も前向きに真摯な努力する姿に心を打たれました。コロナ禍で新入試に挑む73期生ですが、ピンチをチャンスととらえ、正しい情報を収集し、希望する進路実現に向けて邁進して欲しいと思います。



結びに、米国の心理学者ウィリアム・ジェームズさんの言葉を贈ります。



香港は冷たい……

自分にはそれができないと言った瞬間から可能性の道は閉ざされてしまう。同じ能力の持ち主もプラス思考で取り組んだ人はうまく行き、マイナス思考で取り組んだ人はうまく行かない。まさに人間は、自分の考えた通りの結果を手にするのである。(校長 武田 温代)

昨年のデモに参加した人達が、逮捕起訴され、拘留の果てに禁固刑が下された。私たちは台湾への修学旅行を機に、台湾、香港、中国について調べ、記事にし学習した。一国、制度は何処に？ 返還以降、25年間はそこの筈だった。しかし……一部報道によると、拘留中も夜間の消灯なく深夜に、度々検査し称して起されたと言。



判決後、各国が非難の声を上げた。吾国も民主主義を標榜する一員として、無言論上げねばなるまい。しかし、世界を眺めると、民主主義の行われている地域と、そうでない所とは、今やその数も人口も拮抗しているとい

う。しかも、近年非民主的な国と地域の割合が増えているという。その言は、ブルジョアが「おかしな」ことだ。トランプ氏に感化されて、さういふ、ペーパラーも選挙の不正を問われながら、大統領は居座り続けている。ハンガリーは民主的な選挙で選ばれたオルバン大統領が、その後都合のいいように憲法や法律を変えてしまった。この経緯は、あの品々、ヒトラーと同じなのだ。

▼中国本土香港特別区の旗
私達、千世紀に生まれ育った者は、来たる百年はよりよいものになると、根拠なく、漠然と信じていた。しかし現実……。ただ、米国の大統領選挙で史上最高の投票率を見た時、トランプ氏の天下は続かなかつたり、分断が広がっているとはいえ、米国の揺り戻しは確かに起こった。対岸から眺めていて、彼の違いを痛感するのは、一人一人が選挙というものにかかる情熱と迫力の違いだ。自分たちが正しいと信じるものを具体的に応援という行動で表している。トランプという存在を、一時、元首に据えたとは言え、それも民主主義の結果であり、主権者の総意でもある。



デモクシーを支え、保障するものは選挙だけではない。デモも、メディアも、然り。デモに加わった者が実刑を食らい、メディアも逮捕され、選挙で選ばれた議員も資格剥奪されて議場から逐われる。全法律に基づく裁定だが、それはデモクシーを否む法である。悪法も法なり、では済まされぬ。台湾・中華民国の蔡英文総統は、香港当局の措置を激しく非難した。彼女はコロナでも果敢に成功を取めた。(香港ウォッチャー)

奪いさることのできないもの
青春とは不思議な時間である。そして青春がもたらすものは、更に不思議だ。一部の者、それも粗野で、幸福な気質を持った者にとっては、青春とは遊樂の時間である。しかし、その他の者、それも感受性の強い、思慮深い者にとっては、青春とは徐々に痛感される自身の天性への目覚めである。私達は、哀れにも善悪という途方もない問題を自力で解決しようとして相矛盾する衝動を次から次へと試み、そして激しい熱狂にうかされ乍ら、あれこれ異なる人生観の間を揺れ動き、最後には疲れ果て、意気消沈し、この美しい世界の中で我々自身を眺め回して、人間が哲学的な思索を始めた目を呪う。そしてそこから、掴み取った途端に色褪せてしまったような束の間の事柄ばかりを情熱的に追求める日々が始まるのだ。戸惑い乍ら、途方に暮れて、私達は「世の習い」を思い出す。

若き日のデューマス



賤しい人が立派な人に見られたり
また才能のない人が成功して立派に着飾っていたり
また悪人がまことしやかに新年を偽誓したり
また見苦しくもつまらない人に栄誉が与えられ
また純な仁徳が残念に汚され
また正当なものが不正にけがされたり
また健全な力がよこしまな勢力にまげられ
また学芸が権力者から言語の自由を束縛され
また悪行が学者らしく学芸に制裁を加え
また単純な真理を単純な頭だと考えたり
また善行が悪魔に仕えて征服されたり

そして、失意の内に幻滅し、砕け散った理想だけが私達の下に残る。
しかし、この腐れた世の中にも、私たちが奪いさることができないものが一つだけある。それは、偉大な音楽に永遠に存在する、変わることのない、深い喜びと慰めである。全てが無駄に終わるとしても、ここには精神の安らぐ場所がある。音楽は、この短い人生で得られることのない、安らぎの世界への台鍵を与えてくれる。そして遂には、あの「愛と微笑みに溢れた永遠の光の中に導いてくれるだろう。」
(エリック・フエンペー著 私の知るデューマスより)



右の一節は、音楽に魅せられ、放蕩の果に自らとなつてしまった作曲家フレデリック・デューマス(左)上写真)に魅せられ、楽曲の口述筆記に半生を捧げた人の文章である。ヨーロッパ人らしく、というか、英国人らしく、というべきか、我々とは少し書き下ろしの異なる文章である。暗示的であったり、抽象的であったり、散文なのに詩のようであったりする。今はそれ所でないだろうが、それが明けたら、また一息つく気になったら、じっくりと味わってほしい。益善ある一文である。(音楽狂時代) 編集後記▼「無事身名馬」とい、「運鈍根」とも受験でも人生でも然り▼大病事故など、せねばならぬ事を無事云々せねばそれだけで▼後者は、何事か意のままにやらぬ世、人事を尽くして運を味方につけねば▼過度な鈍感さも肝要、あんまりナーバスになつてもね、でも今の若し、衆は▼更に根拠、大きく構えて、積み重ねていく。これは最も伸びる▼無類の努力家、成功の秘訣▼無心で頑張るのか▼無類かましてないか▼他人の事など「頓着無」の精進に▼無類無比の成果を▼急ぐなよ、焦るなよ、結果不中も▼無力感に▼無類の無類▼無類、無類、無類、無類、無類は青春の証▼無類の夢に身を委ねれば無上の至福が其処にある▼無類自然はある種、理想の生なれ、無類無類は困る。コロナには科学的な対策を▼無類根拠の強弁は今更▼無類旅などには到底無類の医療現場にお金と人の厚い支援を▼Go to 医、となるべきに▼何より入試の無事を祈りつつ(無聊行人)